坂元小だより

鹿児島市立坂元小学校
学　校　だ　よ　り
令和８年　９月号
発行責任者：岩下　修一

～やってみよう　頑張ってみよう　みんなが笑顔の坂元小～

「信頼関係を深める」２学期に

坂元小学校　校長　岩下　修一

台風24号の接近による大雨強風等の影響を心配しましたが、大きな被害もなく過ぎ去り、一安心いたしました。朝夕は、暑さもやわらぎ、子どもたちも元気に校庭を走り回っています。

ところで、２学期の始業式では、子どもたちがより生き生きと学校生活を送り、自分の未来に夢を描けるようにするため、２学期の坂元小学校は「信頼関係（絆：きずな）を深める」というテーマを掲げて教育活動に取り組んでいくということを話しました。信頼関係の基盤は、何よりも子どもたちが「学校が楽しい」「先生が分かってくれる」という安心感をもつことです。そのために、２学期は、以下の３つのアプローチを大切にしていきます。

【子どもたちへの掲示物】

【２学期始業式の様子】

１　「より分かる授業」の展開と学習意欲の向上

「分かる！」という喜びは、子どもの学ぶ意欲を自ずと引き出します。毎日の授業において、学習の見通しをもたせ、個別支援を充実させながら、「より分かる学習活動」を徹底してまいります。

２　「子どもの言い分をよく聞く」「褒めて伸ばす」

子どもは失敗を繰り返しながら成長するものです。失敗を頭ごなしに叱るのではなく、まずは子どもの言い分をしっかりと受け止め、よい面を認めて伸ばしていくことに重きを置きます。「褒めて、認められてこそ、指導は子どもの心に届く」という姿勢を全職員で共有し、日頃からの肯定的な声掛け（アロハ運動や発達支持的生徒指導）をさらに強化してまいります。

３　保護者の皆様と連携し、共に子どもを伸ばす

学校の指導だけで子どもが伸びるわけではありません。日頃からご家庭で子育てに奮闘されている保護者の皆様の努力や愛情を認め合い、連携を図りながら、共に子どもを伸ばす姿勢を大切にいたします。「指導」するよりも、手を取り合って「よい面を伸ばす」ことに重きを置いた２学期にいたします。

また、今学期は、文化活動（習字・作文等の国語科作品、図画作品等）の充実、読書活動の推進、体験活動の充実、そして、いじめへの理解を深める「いじめ問題について考える週間」の充実など、子どもたちの豊かな心を育む教育活動の充実を図ってまいります。さらに、キャリア教育を通して、子どもたち自身が「夢」や「将来の希望」について考える時間も、時機を捉えて計画的に設けてまいります。

子どもたちが、自分の「よい面」をさらに伸ばし、「気づき　考え　実行する」たくましい姿を見せてくれるよう、まずは教職員が元気で健康に、そして高い服務規律のもとで信頼される集団として一丸となってサポートしてまいります。 保護者、地域の皆様におかれましては、今学期も本校の教育活動への変わらぬご理解とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

＊裏面もあります。